

漁海況予報事業

櫻井 正輝 他資源管理部全員

【目的】

沿岸・沖合漁業に関する漁海況及び資源の研究結果に基づき漁海況予報を作成するとともに、漁海況情報を迅速に収集、処理、提供することにより、漁業資源の合理的利用と操業の効率化を図り、漁業経営の安定に資する。

【方法】

標記事業及び200カイリ水域内漁業資源総合調査等により漁海況情報を収集、整理、分析した。

漁海況情報の収集

- (1) 定期客船（鹿児島ー沖縄間1隻、串木野ー甕島間1隻）で観測した海面水温、水深105m以浅の流況 毎日
- (2) 水揚げデータ収集（北さつま、枕崎市、山川町、内之浦、高山*） 週1回 *は毎日
- (3) 電話での聞きとり 甕島漁協他15漁協 週1回
- (4) 海洋観測及び卵稚仔調査結果 月1回

【結果】

漁海況情報提供

漁海況情報を基に長期漁海況予報文を四半期毎の年4回、漁海況週報を毎週作成し、情報発信を行った。

- (1) 長期漁海況予報文…4, 7, 10, 1月
- (2) 漁海況週報…毎週木曜日
 - ・漁協、各行政・研究機関、漁業情報サービスセンターへFAX、Eメールによるお知らせ
 - ・南日本新聞の金曜日版に毎週掲載
 - ・鹿児島漁業無線局から毎週木曜日に概要を無線放送

※ (1) ~ (2) の情報は同時に水技HPへ掲載

- (3) 定期客船観測の海況情報 水技HPで随時公開

漁海況情報分析

漁海況分析検討会

- ・第111回対馬暖流系アジ・サバ・イワシ長期漁海況予報会議（令和元年10月30～31日、長崎県農協会館）
- ・第112回対馬暖流系アジ・サバ・イワシ長期漁海況予報会議（令和2年3月24日、水産技術開発センター（インターネット会議））
- ・令和元年度第1回漁海況情報分析検討会（令和元年8月1日、中央水産研究所）
- ・令和元年度第1回中央ブロック長期漁海況予報会議（令和元年8月1～2日、中央水産研究所）
- ・令和元年度第3回漁海況情報分析検討会（令和元年12月18日、中央水産研究所）
- ・令和元年度第2回中央ブロック長期漁海況予報会議（令和元年12月18～19日、中央水産研究所）